

国内河川のごみの現状と課題

～拾うだけでは、解決できない！
不要なプラスチックの大幅削減が必須～



2019年6月3日

全国川ごみネットワーク

<http://kawagomi.jp/>

伊藤 浩子 (itoh@kawagomi.jp)

全国川ごみネットワークは、川ごみ問題の解決に向け、
団体・個人が連携し、協働による諸活動を行っています。

1. 川ごみの現状

川には、大量のプラスチックごみが漂着

庄内川（愛知県）2018年

昨年夏～秋の
台風で増水し
た後、
河口付近には、
大量のペットボ
トルが漂着しま
した。



写真提供：千葉賢教授（四日市大学）

全国の河川でゴミが課題となっています

信濃川
(新潟県)



出典: 新潟水辺の会

荒川
(東京都)

2017年



保津川
(京都府)



出典: NPO法人プロジェクト保津川

吉野川
(徳島県)

2017年



全国水辺のごみ調査

<水辺のごみ見つけ！2018調査地マップ>



■ 2018年(409カ所) の 調査結果

○ 飲料ペットボトル : 44,506個

○ レジ袋 : 16,935個

○ カップ型飲料容器 : 2,432個

調査範囲合計 : 167.34km

国内河川に
推定4,000万本の
ペットボトル！



全国川ごみネットワークが呼びかけ、水辺での
ごみ調査・回収をしたところ(期間:8か月)、
2018年は、川沿いの376地点(のべ150.0km)で、
合計41,433個のペットボトルを数えた。
これは国内河川の0.104%。これより推測すると
国内河川に4,000万本が存在することとなる。

※ペットボトル4000万本を並べると、那覇-稚内の距離に匹敵します

ごみのない 豊かな水辺をめざして
全国水辺のごみ調査 2018
水辺のごみ見つけ！
調査参加者 大募集！

ごみの個数を
数えて、
報告するだけ

調査項目
1) 飲料ペットボトル
2) レジ袋
3) カップ型飲料容器

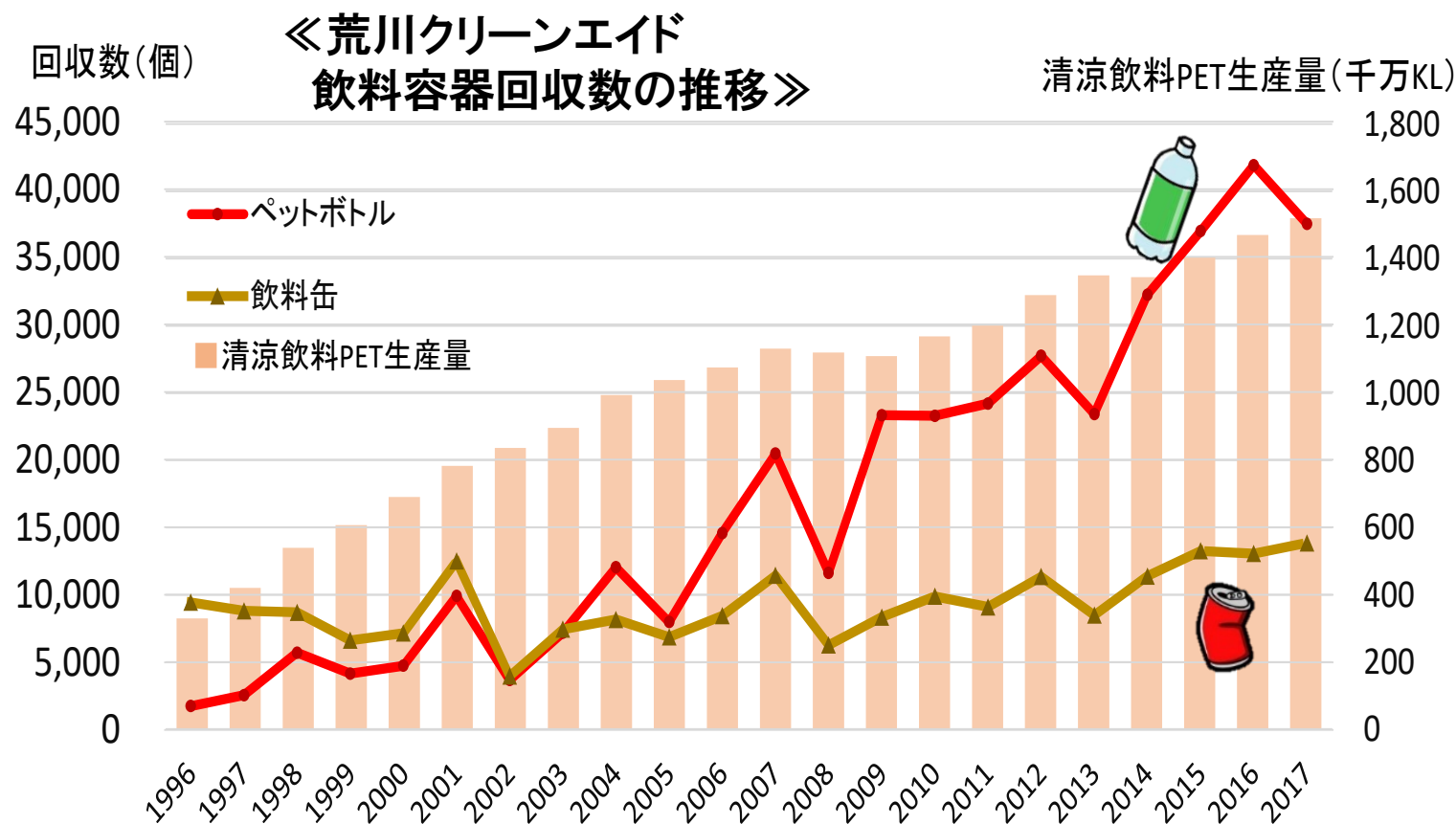
調査だけでもOK！
できれば回収

どなたでも
歓迎！
個人・団体

水辺なら
どこでもOK！
川・湖・海・池・田・畑・河川
など

ごみを調べて
水辺の環境を
考えましょう

～増え続けるペットボトル～



NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムのデータをもとに筆者作成

※清涼飲料PETボトル生産量は、(一社)全国清涼飲料連合会の容器別生産量の推移より

荒川クリーンエイドで回収されたペットボトルは、
生産量の増加に伴い急増している。

1997年→2017年 約10倍

荒川(埼玉・東京)では、荒川クリーンエイドとして、
沿川各地で合計年間約160回、のべ約12,000人
が参加し、ごみ拾いをしています。

～川でもマイクロプラスチック～



荒川の低水護岸にて

マイクロプラスチックは、さまざまな影響が懸念されています。問題が生じてからの対処療法ではなく、問題となる前の対策が重要です。

ペットボトルの
キャップ

発泡スチロール
トレイ、弁当容器
の破片



紫外線
風

水流

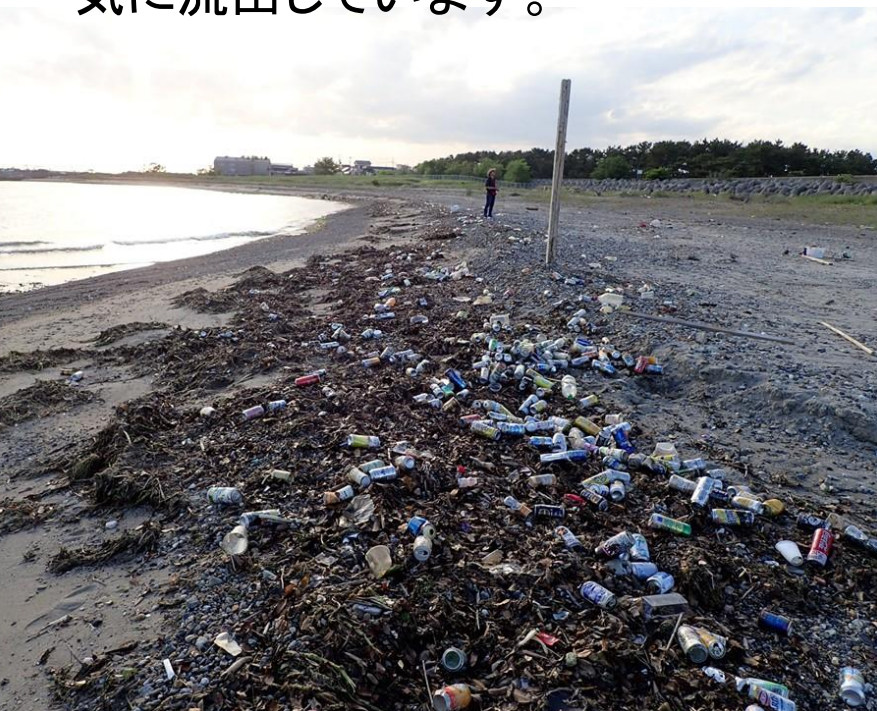
<<河川のマイクロプラスチック(MP)
汚染が進行している>>

東京理科大学二瓶教授、愛媛大学
日向教授らの研究チームによる調査
では(2018年10月発表)

- ・ 29河川36調査地点の内、
26河川31地点(86%)でMPを検出
した。
- ・ 人間活動が活発な河川ほどMP濃
度が高い

2. 川ごみの課題

出水後には、
河川周辺に留まっていたごみが
一気に流出しています。



毎日クリーン活動をしている海岸でも、
集中豪雨の後には、河口付近の海岸には
大量の缶・プラスチック類が漂着していま
す。(兵庫県 望海浜 2019年5月)

常時でも、
流域から流れ着いたごみが
水際に溜まり続けています



**拾うだけでは
解決できない！**

清掃
直後

清掃活動6か月後
(東京都足立区 荒川)

川ごみ問題の解決に向けて

1. 海に流出 する前に

・ 川でストップ！川での回収を強化

[海ごみ対策として、河川での回収も支援できるようにする] 海ごみの約7割は川を通じて海へ流出。

現状は、河川は国交省の管轄

拾うだけでは、解決できない量が存在

2. 川への 流入を防ぐ

・ まちからの流入対策を強化

[ソフト的、ハード的な対策の見直し]

ポイ捨て防止、ごみ集積場からの流出対策など

支流や、排水機場などから流入する人工ごみを
防ぐのは、河川管理上困難

3. まちからの 排出抑制

・ 不要なプラスチックの大幅削減

[制度、仕組みとして、行動変革を促す] 法的拘束力のある規制、課税・課金、回収制度などで削減し、自然界への排出を減らす。

根本的な、排出削減が必要です。